

那須塩原市立学校 働き方改革かがやきプラン(第3期)【概要版】

【私たちの基本理念】 ~先生の「ワクワク」が、子供たちの「ワクワク」につながる！~

教職員が心に余裕をもち、心身ともに健康で幸せ(ウェルビーイング)であることが、子供たちの心を豊かにし、より質の高い教育を提供するための必要条件です。本プランは、教職員の働く環境を改善することで、子供たちの未来をより一層輝かせるための改革です。

改革が目指す「2つの具体的な目標」

教職員が笑顔で子供たちと向き合えるよう、以下の目標を達成します。

1 教職員のウェルビーイングの向上

- 生活満足度について「高い・やや高い」と答える教職員の割合を **80%以上**にします(現状 50.9%)。

2 勤務時間の適正化

- 時間外在校等時間(残業)を「月 45 時間以内、年間 360 時間以内」にします。
- 過労死ラインである「月 80 時間超え」を令和 9 年度までに 0 名とし、将来的には月平均 30 時間程度を目指します。

目標達成がもたらす「子供たちへの3つのメリット」

1 先生が「子供とじっくり向き合う時間」が増えます！

デジタル化の推進や、登下校の見守り・集金事務など「学校以外が担うべき業務」を切り離すことで、業務を効率化します。

- メリット: 先生が事務作業等に追われる時間が減り、「わかりやすい授業のための準備(教材研究)」や「子供たち一人ひとりとの対話・指導」に注力できる時間が確実に増えます。

2 専門家や地域がチームとなって「子供たちをサポート」します！

先生だけが全てを抱え込むのではなく、多様な人材が協力して子供たちを支える体制(チーム学校)を強化します。

- メリット: スクールカウンセラー(SC)やスクールソーシャルワーカー(SSW)、学習支援員、ICT 支援員などの専門スタッフが配置され、子供たちの多様な悩みや学習ニーズに対する、より専門的できめ細やかなサポートが受けられます。

3 「安全・安心で持続可能な部活動環境」へと変わります！

休日の部活動を段階的に地域クラブへと移行し、市の認定制度を創設します。

- メリット: 研修を受けた質の高い「認定地域クラブ活動指導者」のもとで、安全で専門的な指導を受けられる環境を整えます。また、週 2 日以上以上の休養日や活動時間の上限を厳守し、勝利至上主義による過度な練習を抑えることで、子供たちの心身の負担を防ぎます。

保護者・地域の皆様へのお願い

この改革は、先生方が誇りとやりがいをもって子供たちと向き合い、質の高い教育を持続的に提供していくためのものです。勤務時間外の電話の自動音声対応や、教員による登下校指導の原則廃止など、これまでの学校のあり方が変わる部分もありますが、すべては子供たちの豊かな学びと笑顔のためです。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。